

1 はじめに

「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」において、総合的な学習の時間の目標を、「横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。」ことと明記してある。これにより「その課題を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能の定着やこれらを活用する学習活動は、教科で行うことを前提に、体験的な学習に配慮しつつ、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習、探求的な活動となるよう充実を図る」ことが今まで以上に求められるようになった。「探求的な学習」における探求の過程は、「①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現」というおよその流れが明示されている。また、本校では、「集めた情報を整理選択し、的確にまとめる力を育むための支援」、「自分なりの考えをもち、学びを自分の生活に生かす力を育む支援」を課題として掲げている。

これらのことから、総合的な学習の時間での探求的な学習の中で「③整理・分析」に焦点を定めた上記のようなテーマを設定し、探求的な学習における整理・分析の力を高めたいと考えた。

2 指導案

(1) 単元名 「郷土『日立』」

(2) 目標

- ① 郷土である日立について、宿泊学習や体験活動を通して自らの課題を設定し、課題意識をもつことができる。(課題設定能力)
- ② 郷土である日立について、必要な情報を取り出し収集したり、他者の発表を自己に関連付けて聞いたりすることができる。(情報活用能力)
- ③ 郷土である日立について、友達と協力し、話し合うことができる。(コミュニケーション能力)
- ④ 郷土である日立について、収集した情報を整理したり、分析・思考し、課題解決することができる。(課題解決能力)
- ⑤ 郷土である日立について、活動した事柄を自己の生き方に生かすことができる。(自己の生き方)

(3) 単元(題材)の設定に当たって

本校の1学年の総合的な学習の時間では、「郷土『日立』」をテーマに、自分たちの暮らしている日立市について調べ、まとめ、発表する学習に取り組んでいる。1学期は、特別活動推進事業の集団宿泊体験で、高鈴山に登ったり、奥日立きららの里に宿泊したりという経験をし、郷土のよさを実感した。2学年では、「職業選択と私の未来」というテーマで自己の在り方を考えることができる力の育成を目指す。

3 学年では、「夢の実現に向かって自己を見つめる」というテーマで将来の自分について考え、まとめる活動を行う。

地域との関わりが希薄になってきているといわれる現代において、意図的に様々な人たちと触れ合う体験活動を大切にしたいと考える。具体的な体験活動の一つは、キャリア教育と関連させた職場体験学習である。地域で様々な生き方をしている方の話を聞いたり、様々な職場で信念や情熱をもって働く方の話を聞いたりすることで、様々な生き方があることに気づくことができる。また、1 年生では地域の方々との交流会を実施し、地域のお年寄りとの交流をもつ場を設定している。

本単元では、人との関わりにおいて課題を設定し、体験活動を核として「生き方」に目を向けることで、自己の生き方を考え、よりよく生きようとする態度を身につけることができるよう支援していきたい。

本学年の生徒は、明るく素直な生徒が多く、課題にも真面目に取り組むことができる。総合的な学習の時間では、学年の実態を踏まえ、何のために意見や考えを発表するのかという目的意識を明確にもたせることで、コミュニケーション能力を育てたい。さらに、情報交換を通して自分を振り返り、自己の生き方を考える中で、テーマを再検討させていきたい。

(4) 指導と評価の計画 (50 時間扱い)

過程	学習活動	観 点 別 評 価				
		課題設定能力	情報活用能力	コミュニケーション能力	課題解決能力	自己の生き方
課題の設定 (5)	学習のねらいと方法を知る。 ・ガイダンス ・イメージマップ作り ・集団宿泊体験 ・地域に学ぶ	・学習・体験から得たものをもとに、テーマを設定することができる。(観察・ワークシート)			・自ら課題を見つけて、意欲的に取り組むことができる。(観察・ワークシート)	
情報の収集 (20)	各自のテーマを追求する。 ・生き方について学ぶ。 ・テーマ決定 ・テーマの再検討	・計画に従って課題を追求することができる。(観察) ・活動の中から新たな課題を発見し、意欲的に取り組むことができる。(観察)	・様々な体験活動から得られる情報を、目的に応じて取捨選択し、課題追求をすることができる。(観察)	・体験活動を通して、様々な人と意欲的に接しようとする。(観察) ・様々な体験学習や調べ学習において、友達と比較検討しながら、意欲的に取り組むことができる。(観察)	・日立の文化や歴史などを意欲的に調べ、インターネット等を活用して調べることができる。(観察・ワークシート)	・適切な言葉遣い、礼儀やマナーを実践することができる。(観察)
整理分析 まとめ 表現 (20)	各自のテーマについて、まとめる。 ・発表会 (本時⑤)	・発表に向けて、これまでの蓄積された資料や考え方をもとに、新聞形式でまとめることができる。(観察・記録表)			・他の人のまとめ方、発表の仕方を学び、自分のテーマと比較することができる。(観察・記録表)	・学習活動を適切な方法で発表できる。(観察・記録表)

振り返り (5)	活動とテーマについての反省			・人との交流で学んだことを、今後の生活に生かすことができる。(観察)	・生き方について学習したことを、今後の生活に生かすことができる。(観察・記録表)
-------------	---------------	--	--	------------------------------------	--

(5) 本時の展開

- ① 目標 自分が設定したテーマに沿って郷土日立について調べ、まとめることができる。
- ② 準備・資料 プロジェクター・スクリーン
- ③ 展開

過程	学 習 活 動	資 料	支 援 の 手 立 て と 評 価
はじめの活動	1 本時の課題を確認する。 自分の設定したテーマに沿って「郷土『日立』」を調べ、まとめるしよう。	各自の制作物	○ 4時間続きの授業である。2時間目なので、前の時間にできたところを確認し、本時に行う活動をホワイトボードに掲示することで、意欲をもって取り組むことができるようにする。 ○ 何名かの生徒の途中経過をスクリーンに映し、参考となるようにする。 ○ 作成する際のスキルとモラルを確認する。
活動の中心	2 新聞形式で、自分のテーマについてのまとめる。 ＜テーマの例＞ ・日立市の特産物 ・日立市の歴史 ・日立市の有名人 ・日立市の名所 など <u>まとめ方、まとめる観点</u> ・そこで働く人や関わる人 ・過去、現在、未来 ・いいところや課題点 ・家族にインタビュー	各自の制作物 資料	○ 何を伝えたいかという目的を忘れないように、個別指導をしていく。 ○ 写真や画像の扱い方、キャプションの付け方などについて、個別に支援していく。 ○ まとめ方がわからない生徒のために、模範となるものを例示する。 ○ 教師だけでなく、友達に意見をもらうなど、お互いが教え合うことで学び合いを深めていきたい。 ○ 作業が遅れている生徒に、個別に助言する。 評 自分が設定したテーマに沿って、調べたことをまとめることができるか。 (課題解決能力)(観察・記録表)
まとめ	3 本時の学習を反省する。		○ 本時の活動を振り返り、今後の活動に意欲がもてるように働きかける。

3 資料

(1) 課題設定のための体験活動例



＜郷土かるた大会＞

小学校でも慣れ親しんできた「郷土かるた」は、地域の事物について、偏ることなく知ることができるものである。改めて「郷土かるた」を行うことで、地域への関心を深めることにつながった。

<集団宿泊体験>

高鈴山の登山や奥日立きらの里など、身近にありながらも触れる機会が少なかった地域の自然や施設での体験は貴重な経験となった。



(2) 情報収集のための活動



<現地調査>

日立郷土博物館にて、日立的歴史や文化について直に触れ、自分が興味を持つ内容についてレポートにまとめた。普段見ることができない資料をみることができ、とても有意義な活動となった。



<地域ふれあい交流会>

地域の方を招いてのふれあい交流会では、レクリエーションや会食を行った。地域の昔の様子や、現状についての話を聞くことで、調べてみたい内容がより具体的になっていった。

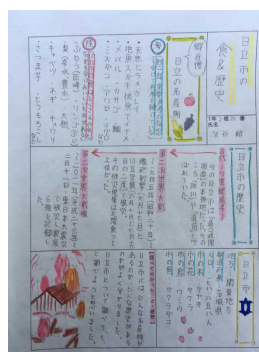
<インターネットの利用>

郷土日立について調べるために、パソコン室のインターネットを活用して、調べ学習を行った。それぞれが興味をもった内容について調べ、その内容について知識を深めることができた。

(3) 整理・分析のための活動例

<心豊かな体験学習発表会の実施>

「心豊かな体験学習」での体験内容を各班ごとにまとめ、ポスターセッション形式で発表会を行った。自分たちが観たもの・感じたものを整理・分析しまとめ方についても学ぶことができた。



4 成果と課題

日立市の自然や歴史について収集した情報を整理したり、分析したりして、思考する活動へと高めていくことを期待し、学習活動を進めてきた。集めた情報自体はつながりのない個別なものであるが、それらを種類ごとに分けるなどして整理したり、細分化して因果関係を導き出したり、多面的・多角的な視点で分析したりする活動を位置づけることができた。反面、資料を写すだけの生徒もいたため、学習方法を検討していきたい。そして、単元計画や年間指導計画で期待した生徒の姿により近づけていけるように今後も、単元計画や年間指導計画の修正を行いたい。